

事務事業名		新規就農者支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目					
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成13 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 農業の担い手の確保					01	06	01	03	15
根拠法令											
所属	部課名	農林水産部 農林課									
	係名	農政係	電話	27-3111							
			内線	344							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(期間限定複数年度のみ)							
新規に花きの生産を希望する者を、大船渡市農業協同組合が花き団地及び花きセンターにおいて受け入れ、栽培技術研修を実施した場合に、その者に対して支払った賃金の1/2を大船渡市農業協同組合に補助する。基本的な研修期間は2ヶ月間で、播種～育苗～出荷までの工程を習得する。平成13年度から花き新規就農者支援事業としてスタートしたが、事業名を平成20年度から新規就農者支援事業に改めた。				総投入量(千円)	事業内訳	国庫支出金					
						都道府県支出金					
						地方債					
						その他					
						一般財源					
						事業費計(A)	0				
人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計(B)	0									
	トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)	花きの新規生産希望者がなかったため実績なし。	ア 新規の花き生産希望者	人
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	花きの新規生産希望者があった場合、補助金を支出する。	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市内の花き生産者	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 市内で花きを生産する農家数	戸
		キ	
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	花き生産者を増やす。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 増加した花き生産農家	戸
		シ	
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	農業の担い手が確保される。		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					100
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	100
	人件費	正規職員従事人数	人					1
		延べ業務時間	時間					10
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	40
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	140
活動指標	ア	人	0	0	0	0	0	1
	イ							
	ウ							
対象指標	カ	戸	24	24	24	24	24	25
	キ							
	ク							
成果指標	サ	戸	0	0	0	0	0	1
	シ							
	ス							

事務事業ID	0515	事務事業名	新規就農者支援事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 気仙フラワーランド構想に基づき、平成8年度に日頃市町に花き生産団地及び市農協フラワーセンターが設置され、大船渡市で花き生産が盛んになり、一層花きの生産振興を図るために、平成13年度に国庫補助事業の「中山間地域夢づくり総合支援事業」を導入し花き新規生産者の育成に対して補助を行ってきたが、事業が平成17年度で終了したことにより、平成18年度からは市単独で事業を実施してきた。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ガーデニングブームにより、花きの出荷額は平成8年度以降年々増加し、規模拡大や新規生産者の参入などにより平成14年度に1億円を達成したが、他産地との競合やガーデニングブームの収束に伴い花苗単価が低迷し出荷額も徐々に減少してきた。 平成19年度頃から、花き市場出荷一辺倒から、ホームセンターとの取引や、企業との契約栽培などを取り入れたことにより、生産量及び生産額が増加傾向にある。 平成20年頃から、経済不況による雇用情勢悪化の影響で、帰農・就農を希望するものが増えてきている。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 花きは、大船渡市農業の基幹であり、今後も一層の振興が求められている。 花きの新規生産者に限定せず、新規就農希望者全般に適用できないか。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由]	この事業により、就農を希望する者への負担を軽減し、新規就農がしやすくなることで、担い手の確保に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由]	花き生産は、大船渡市農業の基幹作物であり、市が積極的に関与して振興する必要がある。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由]	当市農業の重要な担い手である花き生産農家となるべき者を支援する事業であり、対象・意図とも適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由]	花苗の市場価格が低迷する中で、花き生産農家の経営状況が厳しいことから、新規に花きを生産しようとする者が少ない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容]	花の新規の就農希望者に対する市の支援はこの事業だけであることから、廃止はできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由]	花の新規の就農希望者に対する市の支援はこの事業だけである。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	基本的な研修期間の2ヶ月間の賃金を1/2補助するためには最低限の事業費である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	市職員が行う業務は、市農協から提出された補助金交付関係書類の受理・審査・支出のみであり、削減する余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である [理由]	花の新規生産希望者に限定されており、他の品目における就農希望者は支援を受けられない。

事務事業ID	0515	事務事業名	新規就農者支援事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>花苗の市場価格が低迷する中で、花き生産農家の経営状況が厳しいことから、新規に花きを生産しようとする者がなかった。</p>										
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>農業の担い手を確保するためには、花き生産者だけではなく、当市が振興している菌床しいたけ、野菜、畜産における新規就農者に対しても支援すべきである。現行制度の、研修期間中の賃金の1/2を補助する制度を改め、岩手県立農業大学校の新規就農者向け農業研修を受講する場合等に、受講料の一部負担、交通費等の助成を行うなど、多種多様な事例に対応できる支援策を講ずることが成果向上に結びつくと考えられる。</p>		<p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
<p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり										
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p>	<p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
